



総会を終えて

会長 鈴木 美和

過日、全道各地より32名の評議員、そして研究大会関係者の皆様にお集まりいただき総会が開催されました。会計監査を担当された留萌支部・釧路支部の支部長様には会計監査も実施していただきました。

本会の中心事業であります研究大会については第54回大会から第55回大会へしっかりと引き継がれています。今年の夏は旭川市で会員の皆様とお会いできますことを楽しみにしています。

この1年間、支部長・ブロック長をはじめ会員の皆様の御協力を得て、本部の業務を無事に終えることができました。ありがとうございました。会員の皆様には、さらなる御協力、御支援をお願いいたしまして今年度最後の挨拶いたします。

令和7年度 北海道養護教員研究大会案内

1 主 管	北海道養護教員会 上川支部・留萌支部
2 開 催 地	旭川市 1日目 アートホテル旭川 2日目 アートホテル旭川・トーヨーホテル
3 期 日	令和7年7月31日(木)～8月1日(金)
4 特別講演	『子どもの発達に応じたコミュニケーションスキルの育成』 ～ソーシャル・エモーショナル・ラーニングの切り口から～ 講師 法政大学文学部心理学教授 法政大学大学院ライフスタイル教育研究所所長 渡辺 弥生 氏
5 講 座	第1講座 『命を守るために行動する！先生、準備はできていますか？』 ～災害現場や南極観測隊の経験を通して伝えたいこと～ 講師 旭川医科大学病院 リハビリテーション科 助教 及川 欧 氏 第2講座 『児童・生徒がみるみる変わる』 ～明日から使えるカウンセリング 動機づけ面接～ 講師 オズのクリニック 院長 大坪 陽一 氏 第3講座 『多様性を受け入れる社会を目指して』 ～今、学校にできること～ 講師 7丁目のパウダールーム 店長 満島 てる子 氏
6 分科会	5分科会

『LGBTQに関する養護教諭を対象にしたアンケート2024』の結果

令和6年1月～2月に宝塚大学 日高康晴教授より依頼され任意で回答していただいた『LGBTQに関する養護教諭を対象にしたアンケート2024』の結果が届きましたのでお知らせします。

以下のURLよりアクセスし、ユーザー名とパスワードを入力すると、結果を見ることができますので御案内いたします。

<https://www.health-issue.jp/document/>
ユーザー名:health パスワード:issue2024



令和6年度 北海道養護教員会「総会」の報告



令和7年2月15日(土)に、札幌市民交流プラザにて令和6年度総会を開催しました。評議員32名全員の出席を得て、下記の事項について審議・承認されましたことをお知らせいたします。

1 議事

- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) 令和6年度事業・業務報告 | (11) 第56回北海道養護教員研究大会について |
| (2) 第54回北海道養護教員研究大会について | (12) 第57回北海道養護教員研究大会担当支部について |
| (3) 第54回北海道養護教員研究大会反省記録について | (13) 札幌高校支部提出議題について |
| (4) 研究大会開催に関わる引継事項について | (14) 檜山支部提出議題について |
| (5) 令和6年度中間決算報告 | (15) 研究大会を考える会の経過報告 |
| (6) 令和6年度会計監査報告 | (16) 支部提出議題(ありませんでした) |
| (7) 令和7年度事業・業務計画案 | (17) 次期役員選出…4ページに掲載 |
| (8) 令和7年度支部長役割分担、副会長担当割当て | (18) その他(役員報酬について御意見がありました。令和7年度第1回支部長研修会書面開催時に回答する予定です。) |
| (9) 令和7年度予算案 | |
| (10) 第55回北海道養護教員研究大会について | |

【第55回研究大会について】

参加申込みはWebでの個人申込みとなります。各自、Web上で参加登録をし、参加費2,500円をお支払いください。支払い方法については、開催要項(4月発行)で御確認ください。申込期限は5月16日(金)です。研究集録代(2,500円)は、支部又はブロックを通じてお支払いください。多くの皆様のお越しをお待ちしています。

2 連絡事項

- 令和7年度会員名簿等の作成について
- 令和7年度会費納入依頼
- 学校保健会会報「保健室シリーズ」執筆順番について
- 入会のお誘い

【令和7年度会員名簿の作成について】

各支部長様へ「今年度の名簿データ」と「会員名簿等作成の手順」をお送りしました。訂正後の名簿は、4月18日(金)までに事務局庶務係の名簿担当者にE-mailにて報告をお願いします。

【令和7年度会費の納入について】

令和7年度の本部会費は2,000円です。支部ごとに会員分をまとめてゆうちょ銀行口座に送金し、振込完了のメールを担当者へ送ってください。納入期限は7月31日となっております。



「研究大会を考える会(令和6年度～)」報告



令和6年度北海道養護教員会事務局

令和6年度北海道養護教員会総会において、第1回「研究大会を考える会(令和6年度～)」での検討事項について議題が提出され、研究大会の在り方で大切に残していくべき点や、時代に即した形に変えていく点を確認し、承認されました。

「研究大会を考える会(平成24～28年度)」のまとめにある、「研究を大事にする」「主管支部の負担軽減と参加者が満足できる内容の両立を目指す」という事を継承しつつ、今回改めて確認・変更された事項は以下となります。

- 研究大会の開催地は、管内管外を問わない。
(従来と変更なし。主管支部が都合の良い開催地を選定する。)
- 研究大会の日程は、1日～1日半日程を基本とする。
(従来の1日半から、主管支部の地域事情や交通事情によって幅を持たせられるようにした。)
- 特別講演や講座のオンライン配信、アーカイブ配信については、実行委員会の裁量に任せる。
(主管支部により事情が異なるため、配信を行うという一律の規定を設けるのは難しい。配信が可能な支部は、講師や本部と相談しながら実施可能。)

また、今後検討が必要な事としては、「研究大会主管のローテーションを決めていくにあたり、単独開催が難しい支部がどのように大会運営に関わることができるか」、「分科会での発表が難しいという支部が出てきている中、どのような分科会(研究発表)の形が望ましいのか」、「周年大会における祝賀会の在り方について」などが挙げられ、来年度以降の「研究会を考える会(令和6年度～)」で各支部の意見を聞きながら検討していく予定です。



第57回北海道学校保健学会 参加報告



事務局員 須川 恵里

10月6日(日)に第57回北海道学校保健学会に参加しました。今年は例年に比べ演題が多く、4グループ10題の一般演題の発表がありました。うち、2題は教職員の発表で、8題が学生による発表で、各演題とも、活発な質疑応答が行われました。

学生からは以下の演題が発表されました。

- 『色調が与える心理的印象と保健室での活用』
- 『大学生の救急処置に関する知識と自信度の関連についての研究』
- 『高校生までの読書習慣と大学生の読書行動との関連』
- 『小学校養護教諭が行う性に関する指導についての研究』
- 『大学生のLGBTQに関する知識についての研究』
- 『中学校・高等学校時に抱えた悩みと支援』
- 『保健室登校(別室登校を含む)に関する意識と支援方法についての研究』
- 『教員の仕事に対する満足度等の実態に関する研究』

アンケート調査を主とした研究が多く、どの演題も興味深い内容でした。とりわけ、救急処置に関する研究には興味をもちました。救急処置については、教科書や大学の講義で情報を得ているが、自信がないと感じている学生が多く、また知識定着についても重篤な状況での救急処置に関しては理解が低い、という結果が示されていました。

先に養護教諭として現場に立っている自分を振り返り、救急処置に関する理解を高めることは大前提として、知識を常にアップデートすることや事例を振り返ること、また、知っているだけではなく、日頃から救急の場面を想定したシミュレーションを行い、校内の各部署が連携して対応できるように調整することが必要であると改めて感じました。



令和6年度 全国学校保健・安全研究大会 参加報告



会長 鈴木 美和

11月7日～8日に令和6年度全国学校保健・安全研究大会が宮崎県宮崎市で開催されました。その日の朝、北海道は寒気に襲われ、初雪のニュースばかりだったのですが、宮崎は最高気温20度を超える暖かさ。花が咲き、緑が茂る景色にびっくりしつつも、温暖な気候は良いなあと感じながら研究大会に参加させていただきました。

1日目は、開会式・表彰式に続き全体会講演がありました。「子供の身体活動・運動の現代的課題と解決策～今、学校・地域・社会がやるべきことは何か?～」と題して東京大学大学院 鎌田 真光 氏のお話でした。鎌田氏は、運動不足を世界からなくすことをテーマに研究活動をされていて、身体活動を少しでも行うことは、その強度、量、場面を問わず、健康上の意義があると話されました。今、子どもたちのスクリーンタイムが年々増加していき、運動する子どもとしない子どもの二極化が進む中ですが、「教育」「スポーツ」の領域に限らない多面的な運動機会のアプローチが必要だと話されました。そしてその働きかけの際には対象者目線になっているかという点や、身体活動を誘引する仕掛けという視点についても話されて、自身の職務を振り返るきっかけとなりました。

2日目は、10の課題別研究協議会が開かれ、私は学校環境衛生と現代的健康課題の協議会に参加しました。学校保健・安全という分野の幅広さに気づき、そして日本各地の研究発表の数々に大変刺激を受けました。現代的健康課題の講義を担当された愛知教育大学 准教授 山田 浩平 氏のお話の中で「健康は夢や目標をかなえる力になる」「毎日の生活を規則正しくすると夢や目標が見つかりやすい」という言葉が大変印象に残っています。

日常の保健室を離れ、新たな視点で学校保健について考える機会をいただきました。ありがとうございました。



第71回北海道学校保健・安全研究大会 上川(旭川)大会 参加報告



本部会計 本間 香子

11月24日に旭川市の大雪クリスタルホールにおいて、標記の大会が、「生涯を通じて、心豊かにたくましく 北の大地を生きる子どもの育成を目指して」を主題に開催されました。開会式に引き続き、学校保健功労者表彰授与式では、北海道の学校保健に御尽力くださった学校医30名・学校歯科医42名・学校薬剤師21名・教職員4名の方々が受賞されました。本会から、札幌小中支部の佐藤倫子先生と釧路支部の渡邊直美先生が受賞され表彰盾を授与されました。

基調講演は「生きにくさを抱える子どもたちと家族を支える～自傷、薬物、いじめなどを考える」を演題に、こころとそだちのクリニック むすびめ 院長の田中康雄氏のオンライン講演で、不登校、発達障害、いじめ、自傷やOD、虐待について、背景や原因、学校としてどのように対応していくべきかを中心に興味深い内容の話が展開されました。最後に、子どもにとって希望をもつ人との出会いと安全な環境の提供こそが有益であるという先生の言葉が改めて心に響いた90分間でした。

午後からは、次の3つの部会別研究協議が行われました。それぞれ2校から提言が行われ、活発に研究協議が進められました。

- 第1部会【学校経営と組織活動】○北海道旭川工業高等学校 ○北海道鷹栖養護学校
- 第2部会【保健管理・保健教育、安全管理・安全教育】○名寄市立智恵文小中学校 ○名寄市立風連中央小学校
- 第3部会【現代的健康課題】○旭川市立東町小学校 ○旭川市立神楽岡小学校

令和6年度 役員

令和7年度 役員

会 長	鈴木 美和	札幌市立札幌北中学校	(札幌小中)	会 長	鈴木 美和	札幌市立札幌北中学校	(札幌小中)
副 会 長	栗野 洋美	北海道札幌南高等学校	(札幌高校)	副 会 長	大鐘 純子	北海道高等学校	(札幌高校)
	濱谷 優子	栗山町立継立小学校	(空 知)		相川 奈生	旭川市立共栄小学校	(上川支部)
	三浦 千晶	江差町立江差北小学校	(檜 山)		大宮 陽子	帯広市立愛国小学校	(十勝支部)
	柴田真優美	江別市立江別第一小学校	(石 狩)		三原美奈子	初山別村立初山別中学校	(留萌支部)
事務局長	倉橋 幸希	札幌市立真駒内桜山小学校	(札幌小中)	事務局長	澤田 正代	札幌市立手稲西中学校	(札幌小中)
会 計	本間 香子	市立札幌啓北商業高等学校	(札幌高校)	会 計	志田 清子	北海道石狩南高等学校	(札幌高校)
会計監査	阿部 康香	小平町立小平小学校	(留 萌)	会計監査	和田 知子	釧路市立雲雲中学校	(釧路支部)
	國井 彩湖	標茶町立標茶中学校	(釧 路)		西岡 庸子	厚真町立上厚真小学校	(胆振支部)
事務局員	須川 恵里	札幌新陽高等学校	(札幌高校)	事務局員	保志場みく	市立札幌豊明高等支援学校	(札幌高校)
	前谷菜津希	札幌市立幌西小学校	(札幌小中)		照井 沙彩	札幌市立宮の森小学校	(札幌小中)
	佐々木美洋	札幌市立北九条小学校	(札幌小中)		佐々木美洋	札幌市立北九条小学校	(札幌小中)
	福家 直子	札幌市立札幌中学校	(札幌小中)		福家 直子	札幌市立札幌中学校	(札幌小中)
	渡辺 智子	札幌市立東白石中学校	(札幌小中)		三國 初佳	札幌市立大谷地小学校	(札幌小中)
	林 晶子	札幌市立上野幌中学校	(札幌小中)		林 晶子	札幌市立上野幌中学校	(札幌小中)
	若狭智恵美	札幌市立羊丘小学校	(札幌小中)		笹原 美佳	札幌市立豊平小学校	(札幌小中)
	川部有美子	札幌市立北野中学校	(札幌小中)		川部有美子	札幌市立北野中学校	(札幌小中)
	木村 瑞恵	札幌市立発寒南小学校	(札幌小中)		山岡 梨紗	札幌市立定山溪中学校	(札幌小中)
	佐藤 綾子	札幌市立前田中央小学校	(札幌小中)		岡田 明子	札幌市立西小学校	(札幌小中)
					佐藤 綾子	札幌市立前田中央小学校	(札幌小中)